



山岡光広議員が一般質問

9月議会は8月24日から9月24日まで開かれました。日本共産党の山岡光広議員は一般質問で、①岩永市政4年間の総括と市民要求、②学校図書館整備5カ年計画をふまえて学校図書の実態を、③コロナ禍による介護報酬の引き上げについて、④コロナ禍のもとで少人数学級に転換し子どもたちに

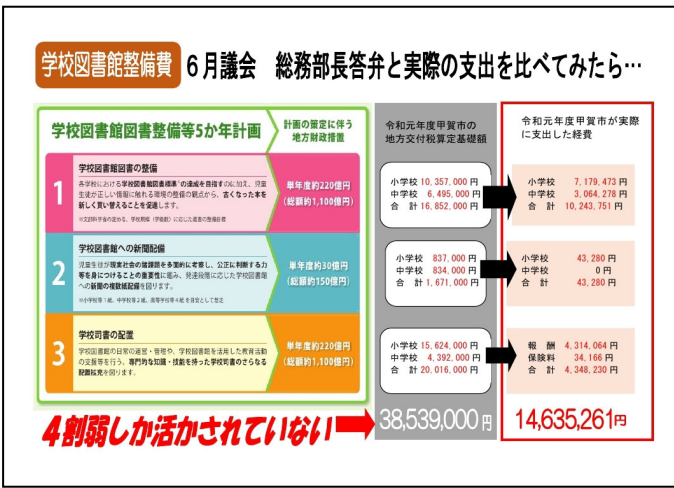
豊かな学びの保障を、⑤第二期滋賀県国民健康保険運営方針の5つのテーマについて、市民の声や実態をふまえながら質問しました。学校図書充実については、甲賀市学校図書費算出システムの見直しや古い図書の除籍など、具体的な改善を約束させました。

学校図書一歩ずつ充実

学校図書の充実、今年で3年度目。昨年9月議会では、専門性を有し法的にも位置づけられた学校司書の役割を強調し増員を要求、今年4月から1名増員し6名となりました。今年6月議会では、国の

学校図書館整備5カ年計画では①図書の蔵書数、②新開設備、③学校司書は5校に1人配置をめざすとなっており、その財源は地方交付税措置されていること。左上図のように昨年度の場合、約3853万円交付税措置

学校図書館整備5カ年計画をふまえた図書拡充を



甲賀市学校図書費算出システムについて

基礎額に充足率による算定係数と補正係数の積算により算出するシステムとなっている。

基礎額算定法	単位	小学校	中学校
A 学校単価	1校あたり	40,000	80,000
B 学級単価	1学級あたり	7,000	10,000
C 特別支援学級単価	1学級あたり	3,000	5,000
D 児童生徒単価	一人あたり	400	200

図書費基礎額 A + B + C + D

図書費充足率による算定係数	小学校	中学校
～50%	2.0	1.5
～75%	1.5	1.3
～100%	1.2	1.2
100%以上	1.0	1.0

蔵書数前年度比による補正係数	補正係数
前年度と同じ 又は 増えている	1.0
前年度より減っている	0.5

学校図書費算出式

学校図書費 = (基礎額 - 1) × 補正係数

蔵書数前年度比による補正係数	補正係数
前年度と同じ 又は 増えている	1.0
前年度より減っている	0.5

置されているのに実際には約1463万円しか支出されていなかったことが明らかになりました。

今議会は「図書費算出システム」(左下図)に問題があることを指摘。山岡議員は「学級数・生徒数を基準とする基礎額と充足率による算定係数は是とするも、前年度と比べて蔵書数が減っているならば、図書費を半分にするとという補正係数は問題。これでは活用できる図書に整理するために、古い本の除籍ができない。改善すべき」と求めました。これに教育部長は「新年度から改善する。必要な除籍を行う」と約束しました。

「図書費算出システム」が図書充実のネックになっていたので、今後大きく改善される道を開きました。また「百科事典など高

市が約束

- 図書費算出システム：補正係数「見直す」
- 図書の除籍：活用できる図書に整理する
- 百科事典：別枠で予算化する
- 学校図書室にもネット環境を整える

令和元年度一般会計をはじめ特別会計・企業会計に関する決算監査意見書を8月17日、山本代表監査委員と山岡監査委員が市長に提出しました(写真)。



額な図書は、別枠でないと更新もできない」と指摘、これに対して「別枠とする」と約束しました。

新聞配備については、6月議会で「デジタルコンテンツの活用をはかる」と約束していたものの、学校図書室のネット環境が整備されていない点を指摘、これもタブレットを配備することで改善することになりました。

図書充実には欠かせない司書配置については、現在6名の司書が市内全小中学校を巡回していることで「配備100%」と位置づけている点について、山岡議員は「週一回の巡回では充分な対応ができない。1.5校に1名配置をめざしつつも、当面大規模校は週2回訪問できるように、せめて8名配置を」と要望しました。

決算監査意見書を市長に提出